

三陸の海を放射能から守る岩手の会（盛岡市）世話人永田文夫

岩手有機農業研究会（雫石町）代表福本敏

クランボンの会（紫波町）代表工藤景子

はかる会（矢巾町）代表島津勢津子

春を呼ぶ会（盛岡市）代表吉田みゆき

岩手県知事選立候補予定者 原子力政策などに関するアンケート

1) 国の原子力政策について

- ① 原子力発電の推進に (賛成する 反対する その他)

(その理由) 原発事故以降、国民の間で原子力の安全性に対する信頼が大きく揺らぎ、エネルギーに対する問題意識や再生可能エネルギーへの新たな意欲が高まっており、こうした意識の変化を踏まえた政策が求められているものと考える。

- ② 原子力発電の再稼働に (賛成する 反対する その他)

(その理由) 再稼働についても広い国民的な合意の中で判断されていく必要があると考える。

- ③ 国の核燃サイクル計画について (賛成する 反対する その他)

(その理由) 核燃料サイクルについても国民の疑問に十分に答えられていない。

2) 日本原燃㈱六ヶ所再処理工場について

- ① 再処理工場の稼働を (賛成する 反対する その他)

(その理由) 再処理工場の稼働についても広い国民的な合意が図られていない。

- ② 再処理工場の重大事故の放射能拡散シミュレーションが公開されていないことについて
防災計画上問題だと思われますが、ご見解をお願いします。

⇒ 岩手県地域防災計画原子力災害対策編に定める対策を迅速かつ確実に実施するために、情報、連絡体制を原子力事業者との間で構築することが必要であり、早期に必要な情報が得られる体制を構築できるよう取り組むとともに、政府に責任ある対応を求めていく。

③ 再処理工場が稼働すると1日おきに海洋へ大量のトリチウムを含む排水が放出されます

(濃度約1億6千万ベクレル/リットルで1回約600トン放出)。

現に使用済み燃料を用いたアクティブ試験で1億7千万Bq/Lの濃度で数回(2007.10.2, 11.17等)

放出されました。(福島県漁連は東京電力と海洋放出トリチウム濃度を1500Bq/Lで合意しました。

その他約11万倍です。この件について国へ何度も申し入れております。)

私たちそして国民の財産 三陸の海への影響が必至です。

ご見解をお願いします。

⇒ 原発事故による放射性物質の影響は、今日においても県民の暮らしや環境、各種産業の風評被害に至るまで、解決すべき課題が広範囲に存在し続けている。

県民の安全・安心を守るため、政府に対し、周辺海域のモニタリング強化と正確な情報発信はもとより、豊かな三陸の海、県民の暮らしや環境、地域産業経済への影響が出ないよう責任ある対応を求めていく。

3) 高レベル放射性廃棄物(ガラス固化体・使用済み核燃料)最終処分場について

① 国から本県が科学的有望地と指定された場合は (賛成する 反対する その他)

(その理由) 高レベル放射性廃棄物の最終処分場について、受け入れる考えはないことを表明している。

4) 上記質問に関連し、補足ご意見等ありましたならお願いします。

⇒ 今後のエネルギー政策については、再生可能エネルギーを重点施策とし、地産地消のエネルギー自給率の向上はもとより、地球温暖化防止や防災のまちづくり、地域振興など多面的な効果をもたらすものであり、再生可能エネルギーによる電力自給率を倍増する目標の達成に向けて、力強く導入を推進していく。

0200004

盛岡市
山岸 6-36
三陸の海 山岸の会
水田文夫 様



020-0022

盛岡市大通二丁目七八

下之原也事務所